

あの記憶を
風化させないために...

あれから
50年

昭和42年六甲山系豪雨土砂災害

六甲山の災害展

2017.8.15 火 ~ 27 日

特別企画 六甲山の緑の原点探索ツアー 8/20・8/23 開催

会場 人と防災未来センター



兵庫県マスコットはばタン

西館 1 階ロビー（入館料は不要のロビー展示です）
9:30 ~ 18:00（入館は 17:00 まで）
ただし、金・土曜日は 9:30 ~ 19:00（入館は 18:00 まで）
※月曜日は休館日です。

主催 ■昭和42年六甲山系豪雨災害50年行事実行委員会

（近畿地方整備局六甲砂防事務所／近畿中国森林管理局兵庫森林管理署／兵庫県／神戸市／芦屋市／西宮市／宝塚市／神戸新聞社／サンテレビ）

■阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



あれから50年六甲山の災害展 (特別展)



六甲山系立体模型で、治山ダムや砂防えん堤の整備状況をリアルに見ることができ、六甲山の緑や市街地を守っていることを理解することができます



神戸市水害誌 (昭和 13 年阪神大水害) を間近に見ることで、神戸で起こった過去の災害状況を知ることができます



明治時代に始まった六甲山のはげ山植林地 (再度山周辺) の今を巡る「六甲山の緑の原点探索ツアー」を開催します



昭和 42 年豪雨災害で発生した六甲山の斜面崩壊地の復旧状況などをパネル展示で紹介いたします

体感する



土石流模型実験装置により土石流を再現し、家屋、道路の被害の様子を治山ダムが整備されている場合と整備されていない場合で見比べ、治山ダムの土砂抑止効果を体感できます



降雨体験装置「カップくん」により、山崩れ等が起きやすい集中豪雨 (時間雨量 10mm ~ 100mm の人工降雨) の強さや降り方を目や耳で体感できます



3D 立体映像装置「びっくりくん」により、土石流の発生から流下するまでの状況をリアルで迫力のある映像と音響で再現します



森林土壌を再現した実験装置で、森林のある場合とない場合を見比べ、保水力の違いを体感できます

学ぶ



「阪神大水害 (昭和 13 年)」「昭和 42 年豪雨災」「阪神・淡路大震災 (平成 7 年)」の被害・復旧状況等をパネルで紹介します



身近な六甲山で今も山崩れが起こっていることや治山ダムの働き、避難行動の重要性などを学べます

調べる



会場に設置したパソコンを使って、県のホームページで配信している「兵庫県 CG ハザードマップ」を実際に操作することができます

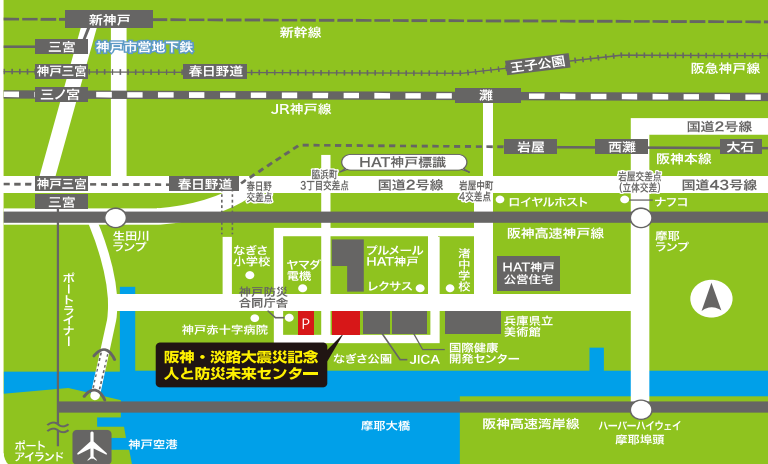
兵庫県 CG ハザードマップ | <http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>

スマートフォンからも CG ハザードマップの情報が閲覧できます。

スマートフォン・モバイルサイトはこちらから ▶



会場までのアクセス



- ▶ 阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約 10 分
- ▶ JR「灘」駅南口から徒歩約 1 2 分 ▶ 阪急電鉄「王子公園」駅西口から徒歩約 2 0 分
- ▶ JR「三ノ宮」駅から神戸市営バス 29・101 系統で約 20 分

お問い合わせ

兵庫県 治山課 ☎ 078-362-3471

兵庫県 砂防課 ☎ 078-362-3544

六甲山の災害展 |

